



**HashPort**

# 地方創生×デジタル資産 HashPort NFT活用事例

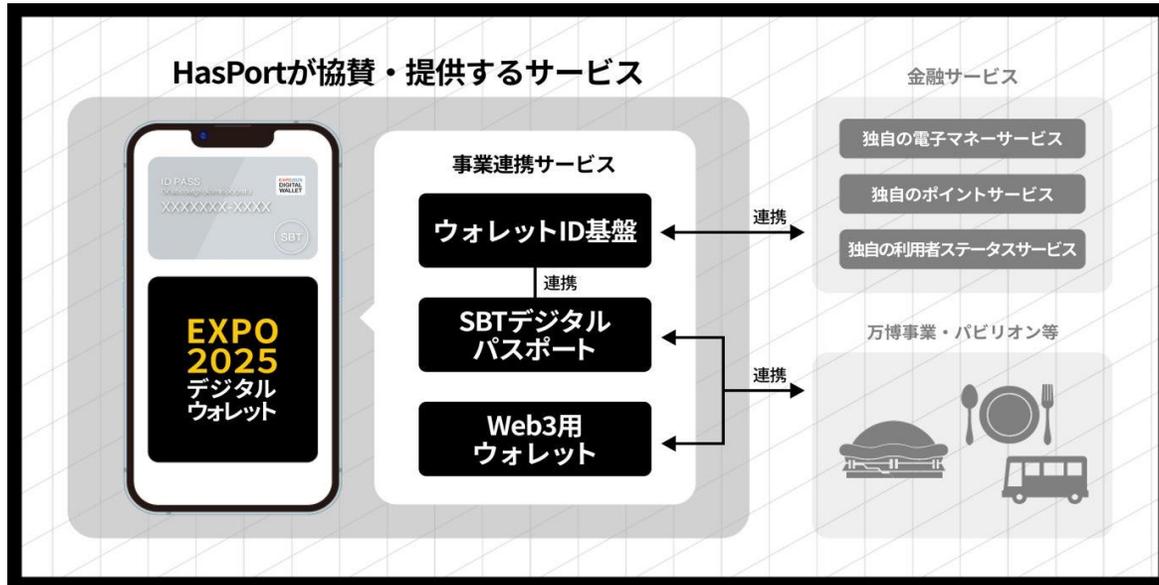
## 大阪・関西万博でのNFT活用事例

### RWA領域でのNFT活用事例

# 大阪・関西万博を通じて提供しているウォレット

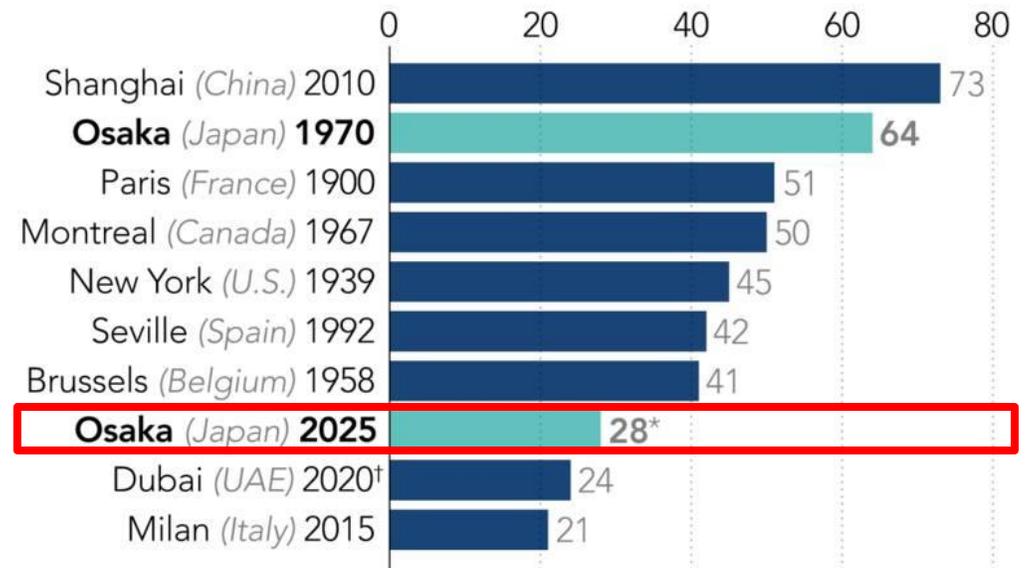
## プロジェクト概要

- EXPO 2025 デジタルウォレット：万博独自の電子マネー・ポイント・ステータスサービス・NFTの各金融サービスのゲートウェイとなるモバイルアプリ（Android / iOS 版の提供を想定）
- ウォレットID基盤：万博独自の各金融サービス及び連携サービスへの登録・ログインが可能なID基盤提供
- SBTデジタルパスポート：SBTを活用してパビリオンやパートナーとデジタルウォレットが連携する際の基盤提供
- Web3用ウォレット：SBTやパビリオン連携や外部事業者連携で発行されたNFTを保管するためのウォレット



## 普及の規模

Osaka 2025 Expo attendance seen less than half of 1970 crowds (Selected World Expo visitor numbers, in millions; in descending order)



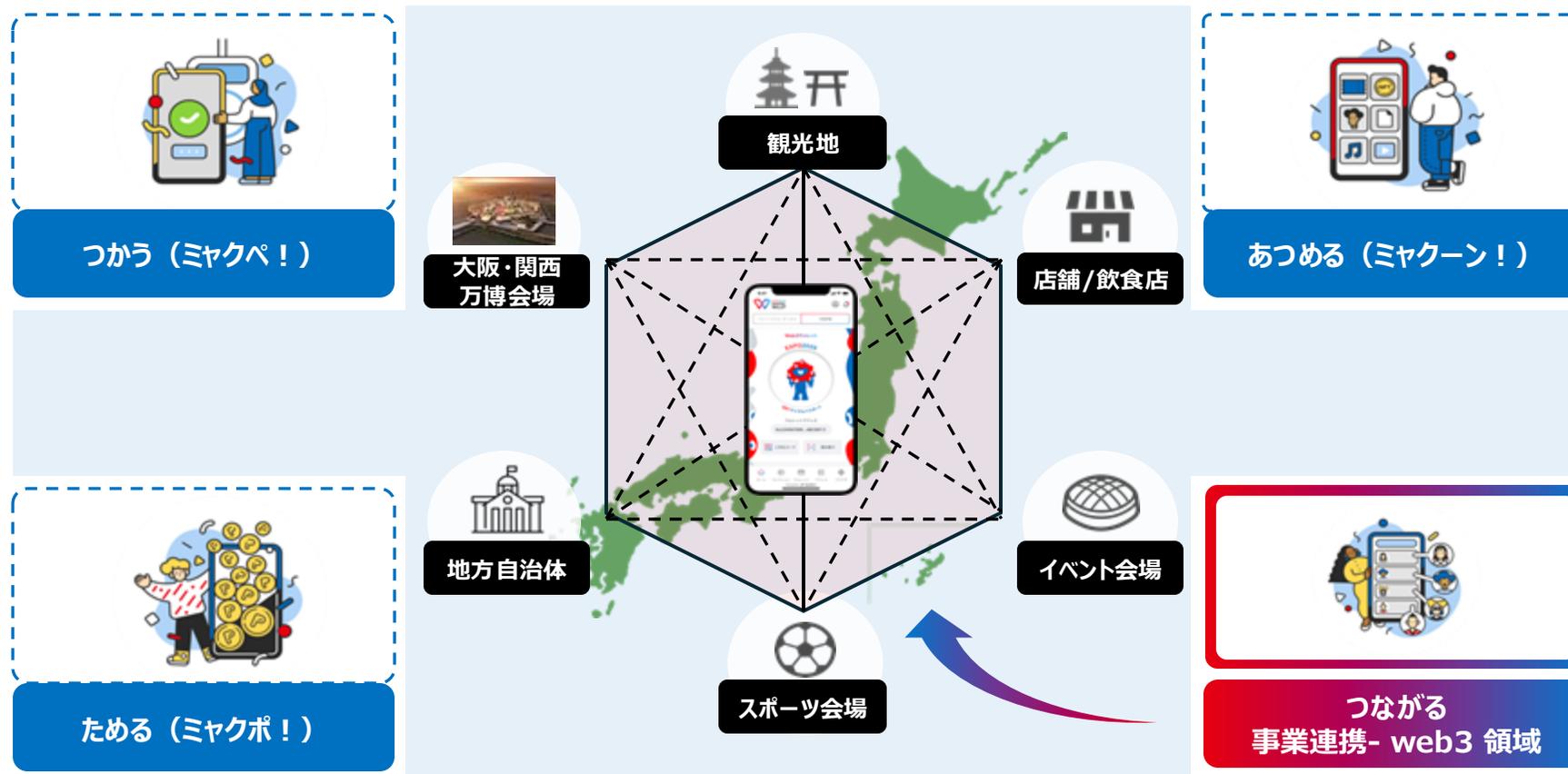
\*Projected by Japan Association for the 2025 World Exposition  
†Delayed to October 2021-March 2022 due to COVID-19 pandemic  
Source: Bureau International des Expositions

2,800万人以上と予想される来場者の約1/3に当たる  
**1,000万人以上の利用を見込む**

# 大阪・関西万博を通じて実施した行動履歴の可視化

## SBTによる行動履歴の可視化

- 会期前からパビリオンや大阪・関西万博を応援している協力会社との連携して、万博と利用者が「つながる」機運醸成サービスを実施。
- ユーザーは、会場外での万博に関連したスタンプラリーやイベントに参加することで、SBT（ブロックチェーン技術を使用して作成されたソウルバウンドトークン）を獲得することができ、それを活かした特典を受けられる。



# 大阪・関西万博を通じて実施した行動履歴の可視化

様々な企業、自治体、教育機関と大阪・関西万博の機運醸成を目的とした取り組みを実施

## 関西大学様との 取り組み



- 関西大学内で大学公式の万博部に所属されたメンバーや、参加者に対してNFTを配布
- 大学初のコラボレーションとして、「EXPO2025デジタルウォレット」公式コラボNFT『関大万博』&『関大万博部』のSBTを学内で発行。合計約85件発行済み

## 日本航空様との 取り組み



- 2024年11月28日の「JALミyakumiyakuJET」の運航開始を記念し、万博開催500日前の11月30日から12月20日までの期間に、EXPO2025デジタルウォレットに5日以上ログインした方を対象に、「JAL ミyakumiyakuJETコラボSBT」を配布。
- 合計約2,573件発行済み

## 大阪外食産業協会様と の取り組み



- ORA加盟店舗で使用可能なクーポンをSBTで配布
- ORA加盟店舗の8ブランド、36店舗で店舗特典を利用可能なクーポンSBTを配布。クーポンにSBTを活用した先行事例であり、今後も更なる活用促進に向けた展開を予定。
- 合計646件発行済み



- ORA加盟店舗で使用可能なクーポンSBTをガチャで配布
- ORA加盟店舗に、ガチャに参加できるQRコードを設置。ガチャの結果に応じて、万博入場チケット、ミyakumiyakuペ！ギフトコード1000円、ORA加盟店のクーポンを獲得可能なキャンペーンを実施。
- 合計約1,000件発行済み

# 過去事例（デジタルアイテムの配布）

デジタルアイテム

スタンプラリー

会員証

連携先

日本航空（JAL）様

概要

クリスマス限定キャンペーン



2024年11月28日の「JALミyakemyk JET」の運航開始を記念し、万博開催500日前の11月30日から12月20日までの期間に、EXPO2025デジタルウォレットに5日以上ログインした方を対象に、「JAL ミyakemyk JETコラボアイテム」を配布。

発行数



連携先

大阪外食産業協会（ORA）様

概要

ORA加盟店舗で使用可能なクーポンをガチャで配布



ORA加盟店舗に、ガチャに参加できるQRコードを設置。ガチャの結果に応じて、万博入場チケット、ミyakemyk!ギフトコード1000円、ORA加盟店のクーポンを獲得可能なキャンペーンを実施。

発行数



# 過去事例（デジタルスタンプラリーの実施）

デジタルアイテム

スタンプラリー

会員証

連携先

JR西日本（西日本旅客鉄道株式会社）様

概要

大阪環状線NFT駅スタンプラリー



西日本旅客鉄道株式会社と連携し、「EXPO 2025 デジタルウォレット」の事業連携サービスの一つとして、万博開幕500日前である2023年11月30日（木）より大阪環状線での駅スタンプラリーを実施。

発行数



連携先

兵庫県様

概要

兵庫県フィールドパビリオンとの連携キャンペーン



大阪・関西万博開幕半年前に合わせて、EXPO2025デジタルウォレットアプリを活用したスタンプラリーを実施。地域の人たちが自らの魅力を発信するプログラムである「ひょうごフィールドパビリオン」にて限定デジタルアイテムを配布。

発行数



# 過去事例（デジタル会員証の作成・運用）

デジタルアイテム

スタンプラリー

会員証

連携先

大阪外食産業協会（ORA）

概要

会員証を持って、ORA加盟店舗をリピートすることにより、店舗で使用なクーポンを配布



ORA に加盟する10 ブランド35 店舗（今後、順次追加予定）以上で様々な特典が利用可能なデジタル会員証の運用を提供。  
約650枚のメンバーシップが発行され、第2弾キャンペーンのユニークユーザーは393名だったため、1.5倍程度キャンペーン参加者が増加。

発行数



会員証

合計：650件



バッジ

合計：393件

大阪・関西万博でのNFT活用事例

**RWA領域でのNFT活用事例**

# RWA弊社事例紹介：東急不動産様とのスキー場利用権のRWA-NFT化

## プロジェクトの狙い

- 東急不動産が推進するニセコリゾート発展プロジェクト「Value up NISEKO road to 2030」の一環としてスタート
- NFTを活用することで、以下の実現性や課題検証を実施
  - 他リゾート地区との差別化となる**新たな顧客体験の創出**
  - 値がついていなかった**観光資源の価値の可視化**
  - NFTの新規性を活かした**新たなユーザー層の取込み**
  - デジタルチャネルを活用した**ユーザーとの継続的な接点頻度増強** etc

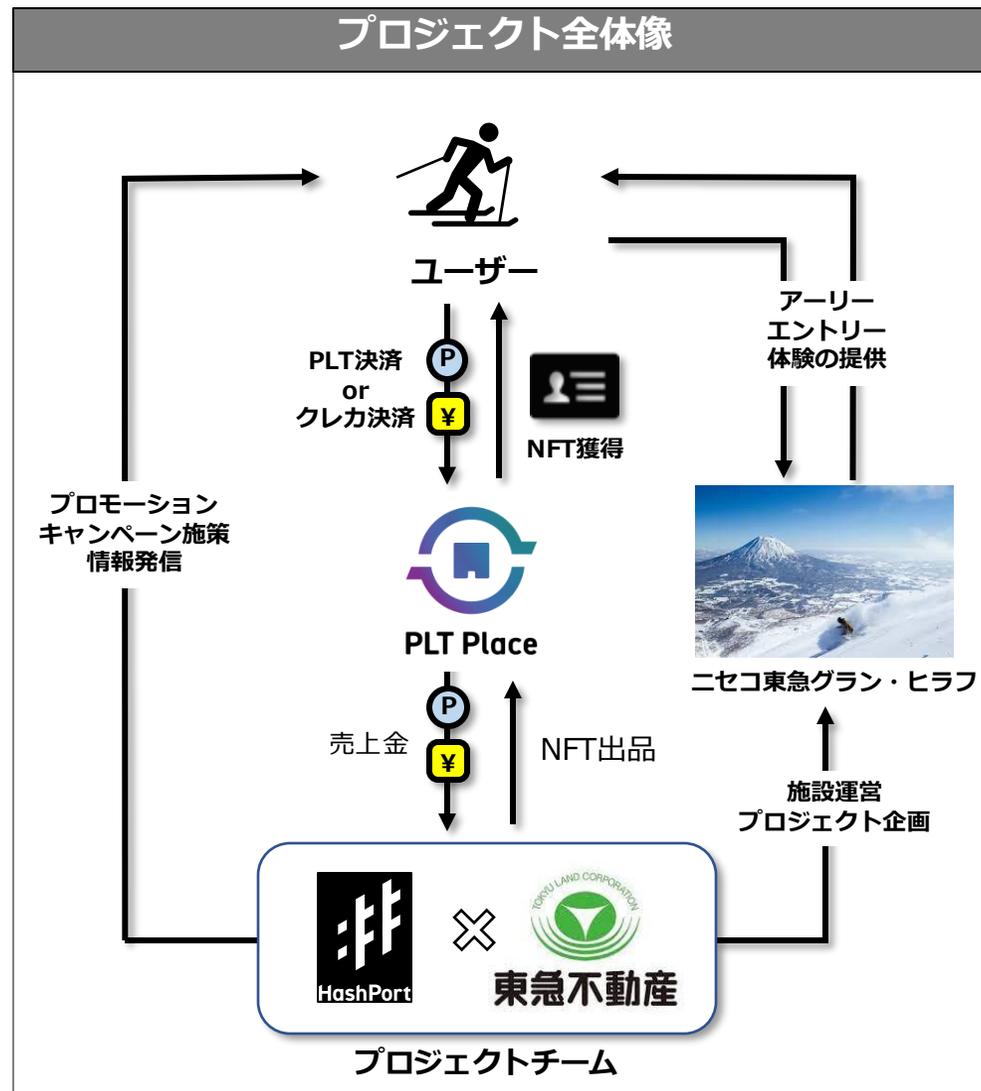
## プロジェクトの概要

- ニセコ東急 グラン・ヒラフで使用可能なNFTをPLT Placeで販売
- NFTに刻まれた日付に、スキー場に先行入場し滑走できる「アーリーエントリー権」を付与

## NFTのユーティリティ

- 利用対象期間は特に雪質の良い12月下旬～2月末の計67日間。
- 例年は朝6時頃から並ぶことでしか得られなかった「アーリーエントリー権」を、**NFTを購入すれば誰でも体験可能**に。
- 次シーズン以降の施策として、著名NFTプロジェクトとのコラボや利用可能施設数増加など、**ユーティリティの拡張を構想中**。

## プロジェクト全体像



# RWA弊社事例紹介：The Court株式会社との宿泊券（RWA）のNFT販売

The Court株式会社との協業で、スイートルームの宿泊だけでなく、専任スタッフによるフルアテンドやトッププロスキーヤーとのレッスン等ラグジュアリーな体験を堪能できる「EN RESORT Grandeco Hotel」の宿泊券NFTを販売。

## プロジェクトの狙い

- 採算性の向上、販売手数料の低減等によるホテル運営事業の業績への貢献（ホテル事業者メリット）
- 使用が困難な際二次流通市場に売却することでキャンセル料の支払いが不要。キャピタルゲインの獲得可能性も創出可能。（ユーザーメリット）

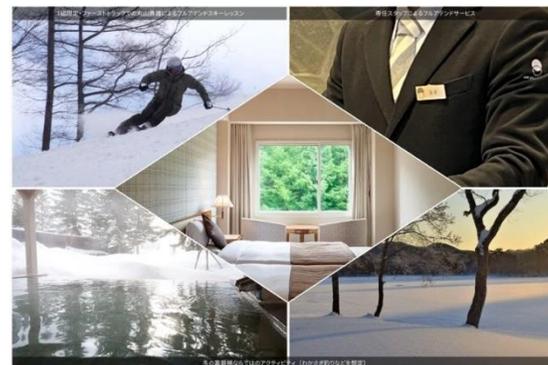
## プロジェクトの概要

- 「EN RESORT Grandeco Hotel」のスイートルームへの宿泊や、トッププロスキーヤー丸山貴雄氏のプライベートレッスンなどの宿泊体験をNFT化。
- NFT宿泊券の購入者専用、専任スタッフによるフルアテンドサービスや郡山駅から当ホテルまで専用車で送迎、湖でのアクティビティなどのアウトドア体験など、快適で魅力的な時間を過ごすことができるプランを実施。

## 宿泊券（RWA）NFTの活用目的

- ポストン・コンサルティング・グループのレポートによると、RWA市場は2030年までに4兆ドル～16兆ドルに達すると予想されており、また、RWAカテゴリーのTVLは2023年から急激に成長しています。
- The Court社が保有する宿泊アセットをNFT化して販売することにより、より特別な宿泊体験を実現すると同時に新たな顧客体験を創出する仕組みとして提供していくことを目指します。

## プロジェクト全体像



HashPort と EN RESORT Grandeco が

ホテルアセットを活用した  
NFT 限定のラグジュアリーな  
宿泊と体験 をセットにして販売

ラグジュアリーな客室と専任スタッフや  
トッププロスキーヤーによるフルアテンドサービスを含めた  
特別な体験を提供

An illustration showing two people, a man and a woman, interacting with various digital assets and NFTs. The man is pointing at a screen displaying a shield icon, and the woman is looking at a laptop. There are also icons of coins and gears.

# RWA弊社事例紹介：ウェルス・マネジメントとのホテル利用権RWAトークン化

2024年4月23日（火）開業の日本初上陸自然派ラグジュアリーホテル「シックスセンス 京都」の宿泊体験をお届けするNFTの企画・発行を支援。

## 協業の概要

- 宿泊券と連動したNFTの販売：ウェルスマネジメント様が保有するスモールラグジュアリーホテルのホテル宿泊券の一部をNFTとして販売を実施。

## 主な実施業務

- 両社間で業務提携を開始し、以下の業務をHashPortグループが受託することに合意。
  1. NFTその他トークンを活用した新規ビジネス開発に関する企画・設計業務
  2. 上記1の新規ビジネスに関するマーケティング企画・支援業務
  3. 上記1に規定する新規ビジネスに関するオペレーション設計・企画業務

## NFT活用の狙い

### 【ホテル事業者メリット】

- ✓ 客室稼働の平準化、キャッシュフローの良化
- ✓ 客室単価のダイナミックプライシング 他

### 【ユーザーメリット】

- ✓ 権利の所有や二次取引（譲渡・売買）が可能
- ✓ 従来の煩雑なリゾート会員権購入等よりも簡略化された購入体験 他

## プロジェクトイメージ

HashPortとウェルス・マネジメント、

ラグジュアリーホテルの

現実資産（RWA）のNFT化に関する

業務委託契約を締結

第一弾として、ウェルス・マネジメントグループが開発・運営するスモールラグジュアリーホテルの宿泊権のNFT化について検討

HashPort

WEALTH  
MANAGEMENT



\*RWAとは、有形または物理的な性質を持つ固有資産や、実社会に紐づいて担保されている債権、証券等の有価証券の総称。D

# RWA弊社事例紹介：FosunとのRWA分野におけるジョイントベンチャーを設立

HashPortとFosunの両社が持つリソースをFosun RWAに結集し、グローバルに存在する様々なRWAを対象としてFosun RWAがブロックチェーン技術によりトークン化・販売することを通じて、効率性、透明性を担保しつつ、全く新しい取引の機会の提供を目指す。

## ジョイントベンチャーの構想

世界の多様なRWAのトークン化を目指す

**FOSUN 复星** × **HashPort**

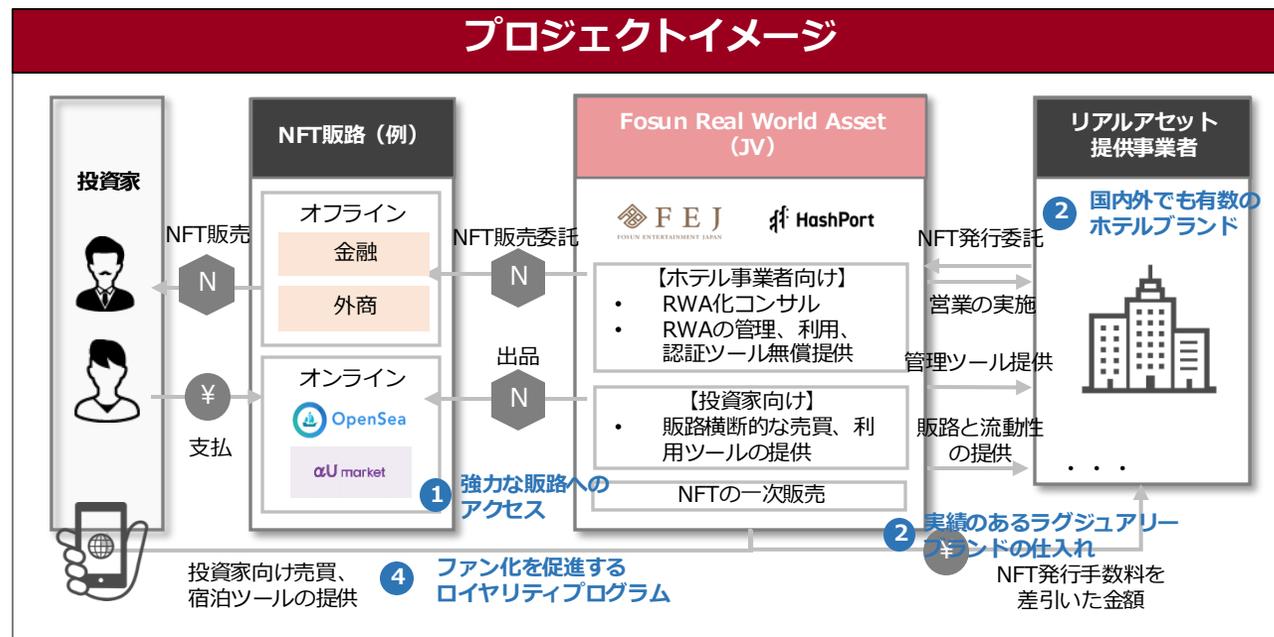
約30の国と地域において10億人の顧客に対しブランド消費と旅行・文化を含む多様な事業を展開

web3におけるブロックチェーン・NFTを活用したトークンビジネス等に精通

## 初期フェーズの検討事項

- 消費性のある将来サービス価値（将来においてホテルに宿泊する権利等）の流動性を高め、管理の透明性と取引コストを削減することに着目
- RWAのトークン発行体（ホテル事業者等）への効果：将来サービス価値の一部をトークン化・販売することを通じて、本来であれば都度サービスを販売する必要があった取引コストを削減すると同時に、まとまった資金の調達ができ、運営の安定化に寄与
- RWAのトークン購入者（ホテル宿泊権の購入者等）への効果：中長期間の利用権を購入することで既存のサービスで利用権を購入するよりも割安に購入できる可能性があることや購入した利用権を二次流通市場で分割して売却が可能

## プロジェクトイメージ



## Fosunが保有するアセット例



\*RWAとは、有形または物理的な性質を持つ固有資産や、実社会に紐づいて担保されている債権、証券等の有価証券の総称。